
僕らと彼女と喫茶店。

萌歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕らと彼女と喫茶店。

【Z-コード】

Z8537Z

【作者名】

萌歌

【あらすじ】

万事屋銀ちゃんを出て、右に曲がって100mぐらい進む。そしてまた左に曲がると、そこには不思議な不思議な喫茶店があった。

設定&前書き（前書き）

始めひやこました！新・連・載

でもかなり不定期になると思われます。

では設定どうぞ！

設定 & 前書き

主人公

紫陽 しよう
憂麻 ゆうま

年齢：27

身長：163

喫茶「紫陽花」を嘗む

幾松とは親友

サバサバした性格

少々言葉遣いが粗い

けつこう大雑把

極親しい人にしか名字を教えない。普段は「憂麻」とだけ名乗つて
いる

喫茶 紫陽花

知る人ぞ知る名店

コーヒーなどの定番メニューから、軽食まで揃っている

建物は2階建てで、1階は店、2階は憂麻の自宅

かぶき町にある

突発思いつき連載なので、かなり不定期になるかと思われます。

&番外編的な感じでもう一つの連載のオリキャラが出るかもわから
ない。

あくまでメインはもう一つ。

頭の中にフツとネタが浮かんできたら書く程度です。

あーでも、これに関しては活動報告とかで「こんな話しが見たい!」
っていうリクエストを取るかもです。

その時はよろしくお願いいたします。

設定&前書き（後書き）

まだまだ未熟者で、連載を両立するとなるとかなり遅いペースになつてしまつます。

でも、頑張りますので憂麻共々よろしくお願ひいたします！

「んー、何と言つか……まあこの子かなりマイペースだから龜より遅い更新ペースだけど、それなりにようじぐ。」

へつ？それなりに？

「当たり前でしょ。本文でそう書いたんだから。あくまでメイインはあっちだからなー！」

……はい。頑張ります。

序章（前書き）

序章です！

相変わらず領導っています。

意味わかりませんww

万事屋銀ちゃんを出で、

右に曲がって

100 ビッグに進む。

そしてまた左に曲がると、

そこには不思議な不思議な喫茶店があった。

「えへへ、やつぱり憂麻の作るカフェオレは絶品だね。」

「わ~…あつがとわん。」

「やつこえば、店のメニュー増やしたんだって？何追加したんだい？」

「うそ、ちゅうとしたお菓子をね。クッキーとかマフィンとか。」

「へえ、食べなさいよ。」

「いいけど、そのかわつまた宣伝頼んだよ、幾松。」

「分かつてゐよ。紫陽花シキソウにも来てて、北斗心軒ヒツキにも来てるお密さん
に伝えとけばいいんでしょ。」

「うふ。……あつ、そつこねばと、」

「何?」

「最近、北斗心軒行つてないね、アタシ。」

「…………あ、そつこねば。」

「また今度行くね？」

「いつでも来てよ。」

「ありがとう。」

そう言って、目を合わせてカウンター越しに微笑み合う二人。

その姿はとても画になつていて、綺麗だった。
え

「アーニー、おまえの仕事は？」

「お粗末様でした。」

幾松は、カウンターにお金を置くと立ち上がり、「またね。」と言つて扉の向こうに消えた。

憂麻はそれを見送ると、カップを手に取りゆつぐじと磨き出す。

「こいつしゃいます。」

しばらくして新たな客が入つてくると、彼女は顔を上げ、微笑んで
こいつ告げた。

彼女の新たな一日が、今日も始まるひつとしている

序
章
e
n
d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8537z/>

僕らと彼女と喫茶店。

2011年12月29日21時49分発行